

スタンド・バイ・ミー (Stand by Me)

観賞日 2026年4月13日 上映時間 89分

【概要】

制作 1986年 アメリカ
監督 ロブ・ライナー
脚本 ブルース・A・エヴァンス、レイノルド・ギデオン
原作 スティーヴン・キング『スタンド・バイ・ミー』
音楽 ジャック・ニッチェ
主題歌 ベン・E・キング『スタンド・バイ・ミー』
撮影 トーマス・デル・ルース
出演 ウィル・ウィートン (ゴードィ・ラチャンス)
リチャード・ドレイファス (大人のゴードィ/ナレーション)
リヴァー・フェニックス (クリス・チェンバース)



【あらすじ】

作家のゴードィ・ラチャンスはある日、新聞で弁護士クリス・チェンバースが刺殺されたという記

事を目にする。そして、遠い昔の1959年夏に起きた出来事を回想する。

当時、私(ゴードィ)はオレゴン州の片田舎キャッスルロックという町に住んでいた。中学進学を目前に控えた12歳の私には仲の良い友達、クリス、テディ、バーンの3人がいた。ある日、バーンが耳よりの情報を持ってきた。行方不明になっていた少年、レイ・フラワーの死体がチェンバレーで発見されたという噂である。実際に死体を発見すれば、お手柄少年として有名になると考えた4人は死体探しの旅に出る決意をした。親にはキャンプと嘘をついて線路伝いに現場まで歩くという計画。途中、鉄橋を渡る時に汽車に轢かれそうになったり、夜は野宿しながらゴードィの小説のネタを聞いたり、大量の蛭に襲われたりしながら、ようやく死体を発見する。そこに、不良グループが現れるがゴードィが拳銃で威嚇し死体を確保する。その後、死体は匿名の電話により発見される。

オールディーズをBGMに12歳4人組少年のひと夏の冒険。

【解説】

■ポイント

●4人の少年のプロフィール

ゴードィ：作家志望で主人公。期待の兄が夭折し、父親に愛されていないと思っている。

クリス：4人の中ではリーダー格。ゴードィのよき理解者。兄が不良グループ。

テディ：粗野で短気。ノルマンディー上陸作戦に参加した父親に虐待されていた。

バーン：デブでのろま。なお、ゴードィ以外は下層階級の出身

●映画化されたスティーヴン・キング作品

50作品以上あるといわれるが、主なものは以下のとおり

映画タイトル	公開年	監督
ショーシャンクの空に	1994年	フランク・ダラボン
シャイニング	1980年	スタンリー・キューブリック
グリーンマイル	1999年	フランク・ダラボン
スタンド・バイ・ミー	1986年	ロブ・ライナー
ミザリー	1990年	ロブ・ライナー

■見どころ

●観る人それぞれの少年期を思い出させるシナリオ

●夭折した、リヴァー・フェニックスの雄姿

●エンドロールで流れる名曲「スタンド・バイ・ミー」